

葉山町障害者福祉計画（案）に対するパブリックコメントの実施結果について

No	ページ	いただいたご意見	町の対応
1	3	全体を通して「障害」としているが、法律や計画などの表記はそれで良いが、文章中の記載は「障がい」と改めた方が良く考える「障害のある人」の表現方法は理解できるが、害の漢字は気になる	3ページに障害の「害」の字に対する町の考え方を掲載しております。「障害」の表記については、否定的な意味合いが強く含まれているため、それを避けるために各機関において様々な表現が使われています。しかし、町では、単に表記を変えることでよしとするのではなく、計画の推進を通じて「障害」という言葉に含まれる否定的な意味合いを払拭することについて問題提起していくために、「障害」の表記を使用することとします。
2	32	32ページにアンケート調査へ寄せられた意見が掲載されている。大変貴重なものであり、新計画内で対応するもの、できないもの、今後検討していけそうなもの等、併記はできないでしょうか。50ページに「アンケート調査からも」と一部の記載はあるのに読み込まないとわからない。	アンケート調査へ寄せられた意見は大変貴重なご意見であり、それらは施策推進の基礎資料として参考にさせていただいております。しかし、本計画上のどこに反映しているのか分かりづらいうご意見ですが、今回は障害福祉計画の改訂のため、障害者計画は時点修正のみとさせていただき、ご指摘いただいた手法については、次期以降の障害者計画策定において検討させていただきます。
3	39	基本理念にある、障がいのある人も、ない人も、共存共栄出来るまちにするためには、障がいのない人間の障がい者に対する理解であり、障がいに対する知識をしっかりと持つことだと思います。その為には、学校の中での教育であったり、年間を通した、勉強会や講習会を地道に増やし続けていくことが重要だと考えます。是非、具体的な年間計画を立て、盛り込んで欲しいと思いました。	障害理解の推進については、葉山町自立支援協議会の議論の中で、計画的に進めております。その具体的な事業は年度によって異なるものの、事業の効果を見ながら継続性をもって翌年度の取組みが検討されております。そのため、本計画上において具体的な内容を盛り込むことは困難であります、引き続き計画的に進めて参ります。
4	40～42	全体的に文字が小さくて読みづらいのでは。対応は難しいか。長い文章が見受けられるので、簡潔な表現を多用すれば可能だと思うが。基本目標の説明文はもっと字を大きくしたほうが良い。	ご意見を踏まえ可能な限り修正します。
5	42	インクルーシブ教育の説明文は、基本目標7の文章の下が良い。基本目標6の文中表記に※を着ければ良いこと	ご意見を踏まえ修正します。
6	48～87	48ページからの基本目標の記載は、大変わかりやすく体系的に纏められているが、例えば「改善」とした事業は、何をどのように改善していくのかなど、具体的な事業実施項目などを明記してはどうか	改善事業については、今後慎重に改善方法を検討して参りたいと考えておりますので、現時点で本計画上に具体的な事業実施項目を記載することは困難ですが、効果的に改善するよう努めて参ります。
7	52	3) に、以前実施していた運動会の復活を記載して欲しい	以前実施しておりました運動会については、事業のあり方検討会において、今後は障害のある人向けの事業から、地域や障害のある人を取り巻く環境における交流事業へ移行すべきであるとの見解が示され、葉山町自立支援協議会を中心に交流の場を創出する事業へ転換を図ったところです。同協議会において引き続き交流の場の創出を検討することとしており、現時点でその方策として運動会の実施という意見はありませんので、本計画上において記載は行いません。
8	55	5) に、たんぽぽ教室の運営について、センター長を役場職員から任命するか、もしくは外部からの有識者を招聘するかなど、組織の見直しと構築を記載すべきと強く要望する	児童福祉法の改正により、平成32年度に児童発達支援センターの設置が義務付けられたことから、組織のあり方についても検討していきます。
9	68	相談支援ファイル「こん葉°す」と追記して欲しい	ご意見を踏まえ修正します。
10	73	縮小ではなく改善ではないか。冷たい施策に思える	所得制限の導入については、制度の安定的かつ継続的な運営を目指すために必要な施策という視点では、ご意見のとおり改善になりますが、それにより対象から外れてしまう人がいるという視点から見ると実際には縮小になるため、本計画上においては縮小と記載することとします。
11	136	本編は全体を通して、非常にわかりやすく体系的に纏められていると思う。大切なのは、毎年行う事業評価のサイクルを、役場職員を中心として関係各位や機関と密に行い、翌年の事業計画にしっかりと盛り込んでいくことと考える。計画の着実な推進と事業評価及びローリングをお願いする	葉山町自立支援協議会において事業評価を行い、適切な事業運営を図って参ります。